

審判を行うにあたって

1. 試合は2017年度日本サッカー協会競技規則に準じて行う。
2. 主審・副審とも必ず審判副を着用すること(予備審判は主審チームより出すこと)
3. 試合開始前に、選手証を提示させること。(選手証のない選手は出場できない)
4. 試合開始前に、スパイク、すね当て、ユニホームの点検を行うこと。
5. 試合開始前に、ボールの点検を行うこと。
6. コイントスによりキックオフ・エンド決める。
7. 選手の交代は、交代する選手がピッチの外に出てから交代者を入れること(予備審判)
8. 主審は、試合が終了したら、得点者の氏名・背番号を確認して試合結果報告書に記入のうえFAXすること。
9. 主審は、得点者名を確認後、審判カード(小)を当日会場責任者に提出すること。

審判員の試合直前の準備

試合開始前30分前までには会場に到着し、次の諸準備をしなければならない。

A 競技会規定の確認

各種競技会には規定が設けられているのでこれを確認し、正しい競技運営が出来るようにする。

- 特に ①競技時間 ②同点の時の処置(引分け) ③ 競技者の交代できる人数 ④競技開始時の最少人数などを確認する

B 主審・副審の打合せ事項

- ① 主審の時計に時刻を合わせる。
- ② 試合時間の終了時の合図。
- ③ 主審の採用する対角線。
- ④ 副審の受け持つサイドを決める。
- ⑤ コーナーキックの時のとるべき位置の確認
- ⑥ スローインの時の監視の分担(2m離れる)

- ⑦ アウトオブプレー(コーナーキック、ゴールキック、スローイン)及び得点の時の合図。
- ⑧ 主審の見えない違反の、副審の合図。
- ⑨ 副審の合図を主審が採用しないときの合図。
- ⑩ オフサイドの判定について。
- ⑪ 主審がゴールインを見極められなかった時の処置。
- ⑫ どちらの副審が上級かを定める。
- ⑬ 競技者の交代が行われようとしている時の合図。
- ⑭ 直接ゴールを狙えるフリーキックの時の位置の取り方。
- ⑮ ペナルティエリア内の反則の判定について。
- ⑯ ペナルティキックの監視の分担。
- ⑰ 予備審判の任務についての確認。

C 競技場の設備の点検など、試合開始前に行うべき諸任務。